

# より効果的に 薬を使うために

2003年より、日本で患者さんひとりひとりの体質にあった治療法が選択できる「オーダーメイド医療」を目指す、基礎研究の国家プロジェクトが開始されました。この「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」では、47種類の病気(約32万症例)の患者さん20万人にご協力頂き、DNA・血清・カルテ情報を収集し、日本最大のバイオバンク・ジャパンを構築できました。このバイオバンク・ジャパンの研究資源を活用して、薬の効きやすさに関係するいくつかの遺伝子型を発見することができ、これらの研究成果を臨床の現場で役立てるために、次の段階となる臨床研究を開始することとなりました。

シンポジウムでは、薬の副作用を減らしたり、薬の効果を高めたり、ひとりひとりに適した薬を選択するために、患者さんと薬の相性を遺伝型検査で事前に調べてから、適切な薬を処方する「オーダーメイド薬物治療の実現」を目指す臨床研究について、ご紹介させていただきます。また、パネルディスカッションでは、この臨床研究に関わる研究者、医療機関、患者さん各々のお立場より、この研究の意義と将来について積極的な議論して頂きます。

日時

**2012年3月30日(金)**

**17時30分～20時00分**

場所

**グランキューブ大阪**

大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口すぐ)

参加  
無料

**事前申込制** 【詳しくは [biobankjp.org](http://biobankjp.org)】

時間割	プログラム内容	(敬称略)
17:30	開会	
17:35-17:40	開会挨拶	大阪府立成人病センター院長 石川 治
17:40-18:00	「プロジェクト概要」	理化学研究所 ゲノム医科学研究センター センター長代行 プログラムリーダー 久保 充明
18:00-18:25	研究の紹介 ・カルバマゼピン・ワルファリン	理化学研究所 ゲノム医科学研究センター 遺伝情報解析チーム チームリーダー 薙田 泰誠
18:25-18:40	「ワルファリン治療症例とオーダーメイド医療」	大阪府立成人病センター 循環器内科主任部長 向井 幹夫
18:40-18:55	「オーダーメイド投薬への期待」	スティーブンス・ジョンソン症候群 患者会代表 湯浅 和恵
18:55-19:05	休憩	
19:05-19:55	パネルディスカッション	コーディネーター 読売新聞社 科学部 記者 杉森 純
19:55-20:00	閉会挨拶	大阪医療センター院長 楠岡 英雄
20:00	閉会	

お申し込みはWEBサイトまたはお電話で

お問い合わせ先 「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」事務局  
TEL 03-5449-5122(土日・祝日を除く9:30～17:00)

詳しくはホームページをご覧ください ▶ オーダーメイド医療実現化プロジェクト <http://biobankjp.org/>  
主催 文部科学省 共催 理化学研究所 ゲノム医科学研究センター・東京大学医科学研究所

